

平成 24 年 9 月 12 日現在

## 鳥インフルエンザ (H5N1) のヒトでの発生状況等について

### I. 鳥インフルエンザ (H5N1) に関する状況

- ① 2003 年 11 月以降 2012 年 8 月 10 日までに、15 カ国から 608 人の確定患者（うち 359 人が死亡。致死率 59.0%）が報告されている。
- ② 2003 年以降、限定的なヒト-ヒト感染のみが確認されているが、継続的な地域感染は確認されていない。このことから、鳥インフルエンザ (H5N1) に関する公衆衛生上のリスクは変更されていない。
- ③ 2012 年 1 月から 8 月では、バングラディッシュ（患者 3 うち死亡 0）、カンボジア（患者 3 うち死亡 3）、中国（患者 2 うち死亡 1）、エジプト（患者 10 うち死亡 5）、インドネシア（患者 8 うち死亡 8）、ベトナム（患者 4 うち死亡 2）の 6 カ国から 30 人の確定患者（うち 19 人が死亡）が報告がされている。

### II. ブタ由来インフルエンザの感染患者の発生について

#### 1. 米国でのブタ由来インフルエンザ (A/H3N2) ウイルスのアウトブレイクについて

- ① インディアナ州は、2012 年 7 月 25 日、同州ラポルテ郡の農業フェアに関連して 4 人のインフルエンザ様疾患の患者が発生したことを発表。7 月 27 日、米国疾病管理センター (CDC) は、この 4 人が インフルエンザ (H1N1) 2009 の遺伝子を有するブタ由来インフルエンザ (H3N2) に感染したことを確認したと公表した。

<以下、ヒトに感染したブタ由来インフルエンザを「変異型インフルエンザ」という。>

- ② これ以降、2012 年 9 月 7 日までに、変異型インフルエンザ (H3N2) 感染患者は 10 州から 296 人（①の 4 人を含む。）（うち入院 16 人、死亡 1 人）が報告されている。
- ③ このうち、これまでに家庭内において相互に感染を起こした、3 人の限定的なヒト-ヒト感染について報告されている。
- ④ 同様のウイルスによる患者は、2011 年 7 月から 2012 年 4 月までに、既に 13 人報告されている。
  - ・ CDC の公表では、変異型インフルエンザ (H3N2) は季節性インフルエンザ (H3N2) とは異なり、変異型インフルエンザ (H3N2) に対する免疫性は 10 歳未満の子供についてはほとんど又は全く無く、成人については比較的有しているとされている。しかし、抗インフルエンザ薬のオセルタミビルやザナミビルには感受性があり、CDC は、季節性インフルエンザと同様に変異型インフルエンザ (H3N2) 患者の治療に、これらの薬剤による治療を推奨している。

- ・ WHO の公表では、変異型インフルエンザ (H3N2) は米国のブタで循環していることから、更なる患者及び小さなクラスター (感染集団) の発生が予測され、現時点では、WHO パンデミックリスクの評価に変更はないとしている。

## 2. 米国での変異型インフルエンザ (A/H1N2) の感染症例の発生について

- ① ミネソタ州は、8月31日、3人の変異型インフルエンザ (H1N2) の感染患者が発生したと発表。
- ② 3人の患者は、同州の農業フェアにおいてブタの品評やブタと長い時間過ごすという、ブタとの接触があったものと報告されている。
- ③ CDC は、9月7日、3人が感染した、変異型インフルエンザ (H1N2) はインフルエンザ (H1N1) 2009 の遺伝子を有していることを発表。
  - ・ 変異型インフルエンザ (H1N2) は、2007年にヒトで循環した季節性インフルエンザに遺伝子的に似ていることからヒトにおける免疫性はあるものとされている。また、抗インフルエンザ薬のオセルタミビルやザナミビルには感受性があるとされている。